

「進めよう！ 65歳の現役社会」

私は昭和13年、京都生まれの当年70歳です。高校卒業後、市内の經理事務所に5年勤務(夜は立命館大学へ)、その後、大阪の「プリンス自動車販売」(現在の日産プリンス大阪販売株式会社)へ入社し、16年間のサラリーマン生活の後、39歳で脱サラして、京阪商事(インテリアクリーニング会社)を設立、26年間事業をしてまいりました。65歳で退任後、今から自分の夢を実現するため「20年間の長期人生計画」を立てました。ここで「元気の源は仕事をすること」と気づき、平成16年、高齢者を元気にするお手伝いをするため、地域のシニアを元気にする住まいのリフォーム会社(ケイハンサービス)を設立、85歳まで現役を目指しています。

健康を維持するため、毎日朝風呂、コップ水、週2回のスポーツジム、年1回断食療法等をしています。日本でも、65歳以上の高齢者が全人口の22%を占める時代です。65歳で現役引退は少し早過ぎませんか。皆さんの経験と能力を活性化して、充実した「熟年生活」を過ごすため、何かに再挑戦してみませんか!!



田中敏雄

日本の元気な高齢者たち

伊能忠敬…50歳の隠居後から暦や天文学を学び、そこから日本初の全国地図を完成させた。

童門冬二…東京都職員から50歳で作家に転身。「異説新撰組」「勝海舟」などを著す。81歳。

室井磨邦子…生涯現役の“日本最高齢”ピアニスト。86歳。
中村メイ子…2歳の初舞台から芸歴70年の大女優。73歳。



ちょっと一言

60歳の定年を迎えたAさんは、40年勤続していた会社を退職しホッと一息ついています。ただ、ここ2~3日気になっているのは退職の挨拶状です。どんな文章を書こうかと思案しています。一般的なものではなく、短くても自分の思いの入った文章にしたいと考えています。特に「〇十〇年を大過なく送ることができ…」という文章だけは避けたいと思っていました。自分なりに懸命に仕事をし、生き抜いてきた40年だったからです。Aさんは考えた挙句「充実したサラリーマン生活を送ることができ…」という一言に思いを込めることにしたのです。こんな挨拶文を書ける自分に満足しています。人生をどう生きるか、人それぞれです。しかし、ある方からこんな話を教えていただきました。アメリカで90歳代の男女

編集後記

しばらくお休みしていました「快適生活情報」を「大阪府高齢者元気研究所」のご協力を頂き、再開することになりました。今後は地域の高齢者のお役に立つ情報や元気になるセミナー開催、日本の元気な高齢者の情報等をお伝えしたいと思っています。今後とも宜しく、お願ひいたします。

(大阪府高齢者元気研究所 田中)

仕事とボランティアの探し方と選び方

- 目標、目的を明確にすること(当面の稼ぎなど)
- 退職時の肩書きは大切だが、いずれ消えて無くなると考えること
- 自己のセールスポイントを客観的に把握し、文章にしておく
- 残っている体力と気力を計算してみる
- 自分一人でも効率よく、どう情報収集するかがカギ
- 家族や周囲の理解と協力が大切
- ボランティアでも今までの経験を生かせる分野へ

独立開業の場合

- 周囲の独立、開業した人からアドバイスを受ける
- できれば、現職勤務中から独立の準備を開始する
- ビジネスモデルに基づいて、開業後の計画書を作成
- 各機関へ届ける(役所・社会保険事務所・税務署など)

人材派遣、紹介の場合

- 求人誌、雑誌やサイトを活用して人材派遣会社を探し、問い合わせる
- 面接では、内容の説明、条件を確認し、希望を伝える
- 納得したら正式に登録する
- 就職派遣先を確認し、決定したら仕事を開始する

※職業訓練校の利用

65歳未満で雇用保険加入資格があれば実務教育訓練が受けられる。(その間、お金も支給される)

参考図書 日経BP社「55歳からの出発」

1,000人を対象にしたアンケートが実施されました。その内容は「90年生きてきた人生の中で、最も後悔していることは何ですか?」。ダントツでナンバー1は「もっといろんなことにチャレンジすれば良かった」という答えだったそうです。

90歳になっても、チャレンジ精神旺盛な高齢者になっていたいものですが、その前に、90歳まで生きられるかどうかが先決です。健康に気を付け、できるだけ長生きし、死ぬ時には「充実した一生だったよ」と語れるようなことになればと思います。



中島 幸子

昭和21年大阪市生まれ。
平成4年、中島税理士事務所(現 N総合会計)を開設。
平成2年より毎月「ちょっと一言」を発行、「決算書の見方」「経理公開のスマート」など、経営雑誌への執筆や講演多数。
大阪市中央区安堂寺町2丁目1番10号
<http://www.n-office.gr.jp>
N総合会計 電話 06-6763-3995

KS 快適で清潔な暮らしを創る
ケイハンサービス株式会社

〒564-0036 吹田市寿町2丁目27番17号
TEL 06-6383-6888 FAX 06-6383-6887
E-mail:mail@keihanservice.co.jp
<http://www.keihanservice.co.jp>

0120-158-468